

治山事業現地見学会を開催

平成27年10月8日（木）、宮沢賢治ゆかりの矢巾町の南^{なんしやうさん}昌山国有林等において、国と県との連携による治山事業の現地見学会を開催しました。

治山事業を実施した箇所は、平成25年8月9日の記録的な豪雨によって土砂流出の災害が発生した矢巾温泉上流部約300mのところでした。署では、平成26年度に、土砂の流出を防ぐ谷止工として堰堤を国有林部分に2基設置しました。民有林部分については岩手県が平成26年度に1基設置し、今後さらにもう1基設置する予定です。

見学会への参加者は、地元煙山地区の方々12名、矢巾町の高橋町長、高橋農林課長、菅原道路都市課長等7名、紫波町の藤尾農業振興室長等2名の合計21名です。主催者側は、盛岡広域振興局の安藤森林保全課長等2名、盛岡署からは9名で、総勢32名となりました。



開催にあたり、署長の辻が挨拶を行い、続いて安藤森林保全課長と高橋町長よりご挨拶をいただきました。



見学会では、まず国有林部分の施工について、総括治山技術官の津内口が説明を行い、次に民有林部分の施行について、盛岡広域振興局の安藤主任より説明をいただき、それぞれに参加者から、

- ・ 治山ダムの幅は何メートルか？
 - ・ 水はどこから出るようになるのか？
- などの質問が出されました。



最後に、地域の要望等の意見も出され、現地見学会を閉会しました。

（写真上が国、下が県実施のもの）

盛岡森林管理署では、今後とも森林の持つ国土保全機能等を維持・増進するため国有林治山に取り組めます。

注）今回の現地見学会は、27年度第2回目の「盛岡まちかど森林教室」も兼ねています。